

## 令和8年度 県立下妻特別支援学校 自己評価表

目指す学校像	ひとりひとりの笑顔が輝く「下特チーム」づくり *ここからだにやさしい学校 *「夢や希望」に向かって努力する力を育てる学校 *信頼とつながりを大切にする学校			
	昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CS協議会にて、子どもたちの願いを実現させていく方向で話し合いを行った。CSとの協働による具体的な体験活動を取り入れるため、役割分担や活動の計画・実施をすすめていく。また引き続き情報の見える化に努め、取り組みの発信を行っていく。</li> <li>・緊急対応想定訓練、胸部圧迫の研修など、緊急時の対応について研修を行った。より効果的かつ効率的に行えるよう、新しい方法（書面でのシミュレーション訓練）での取り組みを行い、教職員の意識の向上や持続などについて検証していく。</li> <li>・職員の働き方改革とコンプライアンスの接続化を図った。授業改善に重点的に取り組むための研修や取り組みのさらなる工夫、学校全体の見直しを図り、職員数の減少に対応していく。</li> <li>・個人研修などを行い、実態に応じた情報機器やアプリを活用し、児童生徒が個々の手段で気持ちを伝えたり、選択や決定をしたりする場面を増やすことができている。児童生徒が生活の場面で活用できるよう、般化をすすめていく。</li> <li>・授業改善に向けた校内研修では、実態把握・情報共有ツール、単元計画の作成について、研究をすすめた。具体的な場面を想定したチームティーチングのあり方や単元計画の作成・活用を通して、より実践につながる研究をすすめていく。</li> </ul>	安全・安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>①安心して学べる環境づくり（コンプライアンス確保）</li> <li>②いじめ対策の充実（予防的取組と組織的対応）</li> <li>③感染症防止対策の徹底</li> <li>④危機管理体制の見直しと強化</li> <li>⑤働き方改革の推進</li> </ul>	
個性や特性に応じた指導・支援の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥個別最適な学びのための適切な指導・支援（分かる授業の実践）</li> <li>⑦自立活動の指導内容を意識した教科指導の充実</li> <li>⑧ICT機器の有効活用による多様な学習活動の推進</li> </ul>		
自立と社会参加に向けた教育活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨基本的な生活習慣と豊かな心の育成</li> <li>⑩系統的なキャリア教育の推進</li> <li>⑪CSとの協働による体験的な学習の充実と実践</li> <li>⑫個に応じた適切な進路相談</li> <li>⑬交流等の共同学習の推進</li> </ul>		
肢体不自由教育の専門性の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>⑭アセスメント力の向上</li> <li>⑮確かな専門性と寄り添う支援</li> <li>⑯精神的・社会的自立（生活力支援の充実）</li> <li>⑰校内研修等の充実</li> <li>⑱関係機関（医療・福祉等）との連携・協働</li> </ul>		
センター的機能の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>⑲組織的な支援の推進</li> <li>⑳教育相談・入試相談の充実</li> <li>㉑肢体不自由教育の取組の積極的な発信</li> <li>㉒個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と活用の支援</li> <li>㉓スポーツ・文化活動の推進</li> </ul>		